

教職員の人材確保について

1 教職員の人材確保にかかる現状

【教員の不足状況】

(単位：人)

	令和5年度			令和6年度	
	始業日	9月1日	12月1日	始業日	6月1日
小学校	17	31	28	5	12
中学校	5	20	12	6	6
高等学校	0	2	1	1	4
特別支援学校	9	5	7	0	9
計	31	58	48	12	31

【教員採用選考試験の申込者数、受験者数、倍率】

(単位：人、倍)

	申込者数	受験者数	申込倍率	受験倍率
6年度採用	2,228	2,057	4.7	4.3
7年度採用	1,919 (2,086)	1,843 (2,003)	3.5	3.4

※大学3年生特別選考を含めた人数を()で表示。

<以下、6月18日午後追記>

【病気休職者等の推移】

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
在職者数(人)	14,936	14,760	14,659	14,504	14,425
病気休職者数(人)	126	118	104	113	125
精神神経系疾患による休職者数(人)	87	87	71	81	95

※在職者数は、当該年度5月1日現在に在職している教育職員数

※休職者数は当該年度中に病気休職している人の数

【退職者数】括弧内は在職者数に対する割合

	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
在職者数				
うち正規				
うち非正規				
退職者数				
うち正規				
年度末退職				
途中退職				
うち非正規 途中退職				

【新規採用者の1年以内の退職者数】括弧内は在職者数に対する割合

	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
採用者数				
退職者数				
年度末退職				
途中退職				
退職者数のうち 精神神経系疾患				

学校における働き方改革の推進について

1 時間外労働時間削減に向けた取組

(1) 現状と課題

学校における働き方改革の推進は、教職員の業務負担の軽減を図り、限られた時間の中で授業の改善や子どもたちと向き合う時間を確保しながら、より効果的な教育活動を持続的に行うことを目的としています。

令和元年12月に給特法が改正され、各教育委員会は、所管する学校の教育職員の時間外労働の上限を月45時間、年360時間とする規則および方針を定め、その実現に向け、業務の削減や必要な環境整備等を進めてきたところです。

令和5年度における時間外労働が月45時間を超える教職員の月平均人数と全ての教職員に対する割合および全国との比較は、以下の表のとおりです。

【時間外労働が月45時間を超える教職員の月平均人数の推移】

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R5とR1の比較
小学校	1,282人 (18.1%)	678人 (9.6%)	631人 (9.0%)	648人 (9.3%)	626人 (9.2%)	51.2%減
中学校	1,484人 (39.2%)	883人 (23.3%)	873人 (23.0%)	1,070人 (28.2%)	1,088人 (28.9%)	26.7%減
県立学校	542人 (12.4%)	235人 (5.0%)	253人 (5.6%)	422人 (9.3%)	397人 (9.0%)	26.8%減

※ () 内は各校種ごとの全ての教職員に対する割合

【時間外在校等時間が月45時間を超える教職員の状況の全国との比較】

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
小学校	三重県	20.6%	9.1%	10.7%	11.3%
	全国平均	39.6%	25.6%	31.4%	29.8%
中学校	三重県	43.4%	19.2%	28.7%	27.6%
	全国平均	53.8%	33.9%	45.4%	44.1%
県立学校	三重県	18.8%	5.4%	9.2%	16.4%
	全国平均	41.6%	22.1%	31.0%	31.8%
特別支援学校	三重県	1.8%	0.7%	1.7%	1.3%
	全国平均	18.9%	9.4%	14.8%	14.7%

※「令和4年度教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査結果」

(文部科学省) を基に作成

※令和元年度から令和4年度までの4月から8月の時間外在校等時間を比較

この割合は、新型コロナウイルス感染症対策による臨時休業等がなく通常
の状況であった令和元年度と比較すると、小学校で 51.2%減、中学校で
26.7%減、県立学校で 26.8%減となっています。これまで続けてきた学校
における働き方改革の取組により、時間外労働時間は減少しており、国が調
査した全国平均と比較しても低い傾向にあります。しかしながら、教職員の
長時間労働が解消されるまでには至っていない状況です。

今後も、各教育委員会および学校は、教職員の長時間労働の解消に向けて、
業務の削減や見直しを進め、学校における働き方改革をより一層推進してい
く必要があります。

(2) 令和6年度の取組

県教育委員会および市町教育委員会、学校が一体となって、学校の働き方
改革に取り組みます。

- ①総勤務時間縮減に係る目標の設定と統一した3項目(定時退校日設定、部
活動休養日の設定、会議時間の短縮)の実施
- ②地域人材・専門人材を活用した教職員の業務負担軽減
 - ・スクール・サポート・スタッフ(全ての公立学校に配置)
 - ・部活動指導員 222名(対前年度比50名増)
 - ・スクールカウンセラー(74,020時間 対前年度比8.0%増)
 - ・スクールソーシャルワーカー(25,119時間 対前年度比2.0%増)
 - ・教頭マネジメント支援員(小中学校 11名)
- ③ICTを活用した業務の効率化
- ④学校および教職員が担う業務の見直し
- ⑤各学校における総勤務時間縮減に向けた課題を解決するための主体的な
取組の推進
- ⑥中学校における休日の部活動の地域連携・地域移行を含む部活動改革

(表) 全国及び三重県の教育職員(※1)における病気休職者数等の推移

(平成25年度～令和4年度)

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
全国	在職者数 (人) ※ 2 a	919,717	919,253	920,492	920,058	920,760	920,034	920,370	920,011	919,922	918,987
	病気休職者数 (人)	8,408	8,277	7,954	7,758	7,796	7,949	8,157	7,666	8,314	8,793
	精神神経系疾患 による休職者数 (人) ※ 3 b	5,079	5,045	5,009	4,891	5,077	5,212	5,478	5,203	5,897	6,539
	b/a×100 (%)	0.55	0.55	0.54	0.53	0.55	0.57	0.59	0.57	0.64	0.71
三重県	在職者数 (人) ※ 1 c	15,424	15,331	15,270	15,267	15,170	14,936	14,760	14,659	14,504	14,425
	病気休職者数 (人)	121	126	129	136	138	126	118	104	113	125
	精神神経系疾患 による休職者数 (人) ※ 2 d	84	90	99	99	99	87	87	71	81	95
	d/c×100 (%)	0.54	0.59	0.65	0.65	0.65	0.58	0.59	0.48	0.56	0.66

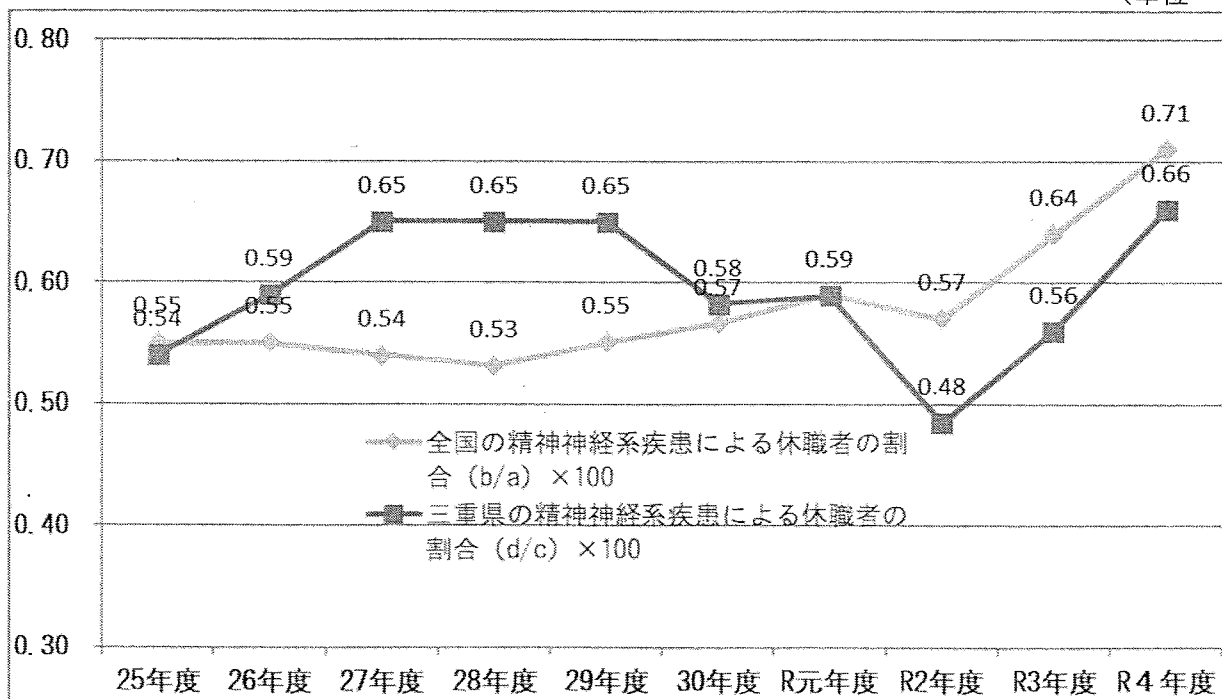
※1 「教育職員」とは、公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校における校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、助教諭、講師、養護助教諭、実習助手及び寄宿舎指導員。(人事行政調査より)

※2 「在職者数」は、当該年度5月1日現在に在職している教育職員数。

※3 「休職者数」は、当該年度中に病気休職している人の数。

(図) 在職者に対する精神神経系疾患休職者数の割合

(単位：%)



【参考】【教員の不足状況(R4~R6 始業日・9月1日時点 ※R6は6月1日時点)】

	R4				R5				R6									
	始業日		9月1日		始業日		9月1日		始業日		6月1日							
小学校	8	地域別内訳		28	地域別内訳		17	地域別内訳		31	地域別内訳		5	地域別内訳		12	地域別内訳	
		北勢	6		北勢	11		北勢	11		北勢	19		北勢	4		北勢	10
		津	0		津	9		津	0		津	4		津	0		津	0
		松阪	0		松阪	1		松阪	3		松阪	3		松阪	0		松阪	0
		南志	1		南志	2		南志	2		南志	2		南志	0		南志	1
		伊賀	0		伊賀	1		伊賀	0		伊賀	0		伊賀	0		伊賀	0
		尾鷲	0		尾鷲	1		尾鷲	0		尾鷲	0		尾鷲	0		尾鷲	0
		熊野	0		熊野			熊野	0		熊野	0		熊野	0		熊野	0
		その他	1		その他	3		その他	1		その他	3		その他	1		その他	1
中学校	9	地域別内訳		20	地域別内訳		5	地域別内訳		20	地域別内訳		6	地域別内訳		6	地域別内訳	
		北勢	6		北勢	12		北勢	4		北勢	11		北勢	4		北勢	2
		津	0		津	3		津	0		津	2		津	0		津	1
		松阪	0		松阪	2		松阪	1		松阪	4		松阪	0		松阪	0
		南志	0		南志	0		南志	0		南志	0		南志	1		南志	2
		伊賀	1		伊賀	0		伊賀	0		伊賀	1		伊賀	0		伊賀	0
		尾鷲	1		尾鷲	1		尾鷲	0		尾鷲	0		尾鷲	1		尾鷲	0
		熊野	0		熊野	0		熊野	0		熊野	0		熊野	0		熊野	0
		その他	1		その他	2					その他	2					その他	1
高等学校	1		0		0		2		1		4							
特別支援学校	2	学部別内訳		0	学部別内訳		9	学部別内訳		5	学部別内訳		0	学部別内訳		9	学部別内訳	
		小学部	1		小学部	3		小学部	2		小学部	3						
		高等部	1		中学部	3		中学部	1		中学部	4						
					高等部	3		高等部	2		高等部	2						
計	20		48		31		58		12		31							

※ 地域別内訳のその他は、非常勤講師不足分の必要時間数を集め、常勤換算した不足数
(非常勤講師3~6名分を常勤講師に換算すると1名など)